

1. 写真の撮影方法及び整理方法

(1) 写真撮影方法(全箇所必要)

①本管の分岐から公道分引込方向に管設置完了全景を撮影

※写真1枚に納まらない場合は分割OK、**継手材使用の場合、本管からの距離を記入**

②既設給水管との接続箇所写真

接続完了写真を撮影する。(どこで接続か分かるように)

※写真撮影方法は「水道引込工事 工事写真撮影見本(例)」及び別添「接続箇所写真撮影例」を参考にしてください

(2) 写真整理方法

電子納品工事完成写真へ下記のように整理する

区分:その他 工種:公道分切替台帳 種別:数量調書番号及び水道番号(例:①99999)

2. 公道分切替台帳の特記事項に記入する記載例

公道分切替の施工は『水道工事設計要綱』P13、P14<別表4-3>を標準とするが、上記を満たせない場合は特記事項へ理由を記載する。

■記載例

1. 公道内で接続した場合

1-1 接続先の配管が1層管の場合

- (1)「宅地内の工事許可が得られないため、公道内接続のリスクを説明し(所有者等の氏名)様の了解を得て公道内で接続。」
- (2)「〇〇が支障となり宅地内の工事ができないため、公道内接続のリスクを説明し(所有者等の氏名)様の了解を得て公道内で接続。」

解説

「給水装置について、公道内接続をすると将来的に漏水やポリ皮による詰まりにより水道水の出が悪くなるリスクがあることについての説明及び、この内容について本人が理解していることが重要です」

1-2 接続先の配管が2層管の場合

- (1)「宅地内の工事許可が得られないため、公道内接続のリスクを説明し(所有者等の氏名)様の了解を得て公道内で接続。**(2層管へ施工済み)**」
- (2)「〇〇が支障となり宅地内の工事ができないため、公道内接続のリスクを説明し(所有者等の氏名)様の了解を得て公道内で接続。**(2層管へ施工済み)**」
- (3)「**2層管**にて施工されており、サドル接続が容易であったため公道内接続とした」

解説

「引込管が2層管の場合ポリ皮詰まりのリスクがなくなるので、2層管施工の記録が重要です。ただし、ポリソケ接続の場合は漏水リスクが高くなりますので所有者等への説明が必要です」

1-3 その他の理由

- (1)「乙止水栓の設置位置について、境界と建物間が狭いため、給水管を曲げてから乙止水栓を設置した。」

解説:分水及び管位置把握のため、引込管曲げ位置の記録が必要です。

- (2)「要綱に従い、43600以降の栓番のため乙止水栓で接続。」
- (3)「要綱に従い、連合給水のため乙止水栓で接続。」

※上記にあてはまらないケースは、協議が必要です。

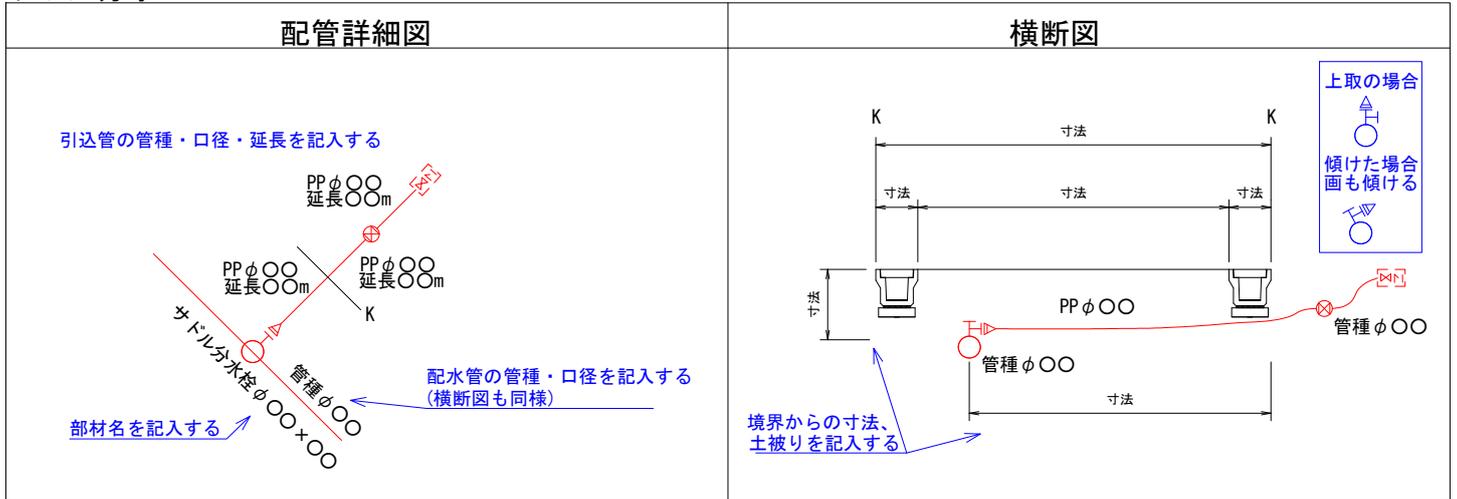
公道分配管図と横断図の記入例

注意事項

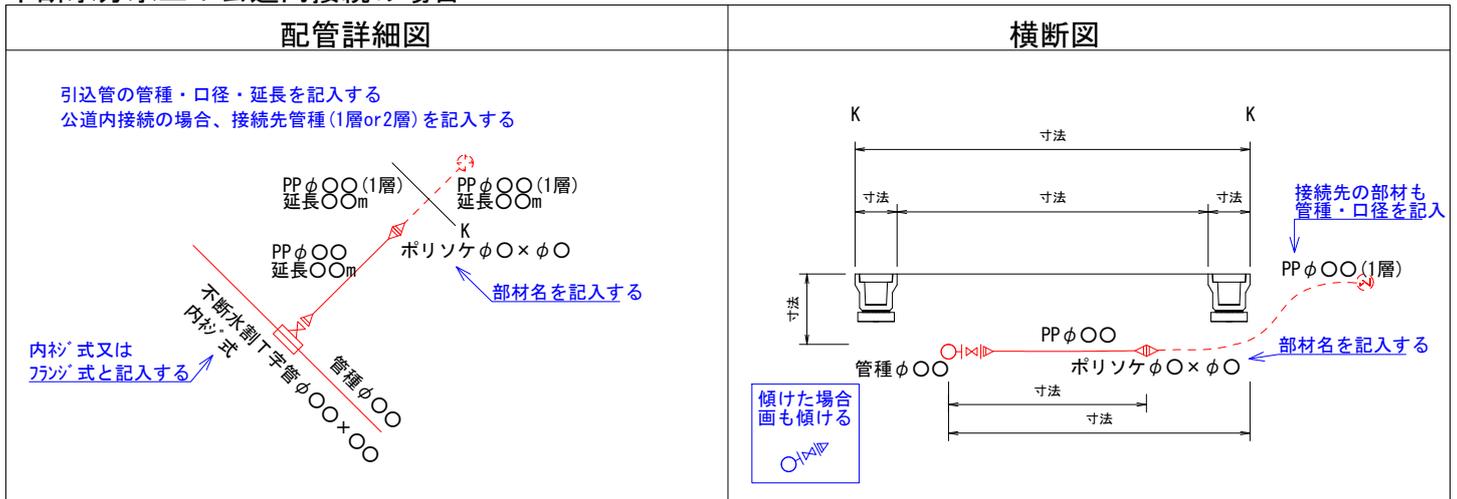
- (1) 現場施工と一致するように記入する
- (2) 止水栓に接続する部材は省略可とする (ロングベンドなど)。設計外の部材は記入
- (3) 横断図の方向は南or東から見た向きとする

- 赤実線 (本工事で施工した箇所)
- 赤破線 (既存管がある箇所)
- 同径ポリソケ
- 異径ポリソケ ※配管部材は赤色で記入
- 黒破線 (撤去した管)

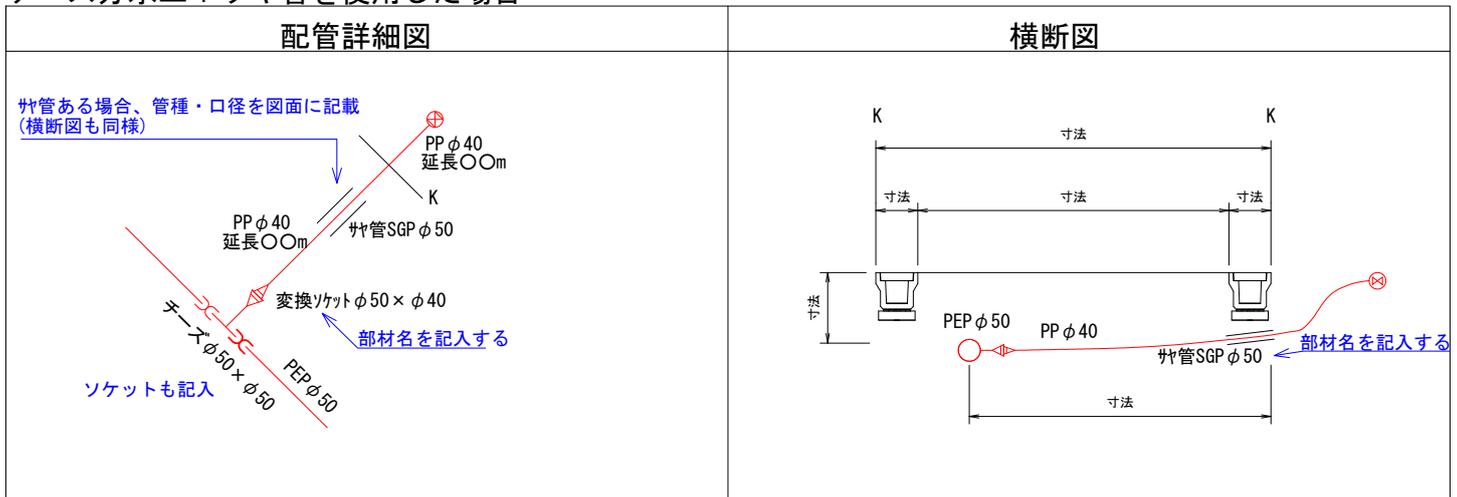
サドル分水工



不断水分水工+公道内接続の場合



チーズ分水工+サヤ管を使用した場合



公道		給水係長	給水担当	担当係長	担当
公道分切替台帳記入見本(一般)					
水道番号	第	99999	号		
設置場所	安城市 桜町 18番地23号				
方書(建物名等)	桜町水道局庁舎				
所有者氏名	公道 太郎				
施工業者	桜町設備 (桜町水道設備)		給水装置工事 主任技術者	桜 太郎	
設計番号	メーター口径	取出口径	分岐点配水管口径		
27-〇〇	20	20	PEPφ50		
丙止水栓まで		乙止水栓又は支管弁まで		公道内で接続	

下請にて施工する場合は
括弧内に下請業者を記入する

工事完了年月日	横断面図 (道路幅員・配水管位置・メーターまでの寸法)
平成28年〇月〇日	
特記事項	
別紙「公道分切替台帳の特記事項に記入する記載例」を参考としてください	別紙「公道分配管図と横断面図の記入例」を参考としてください

切替工事位置図

引込位置を線で記載する

■ 注意事項

- ・位置図は住宅地図とする
- ・上を北とする
- ・敷地をハッチングする
- ・なるべくランドマーク(目標物)をいれる
- ・区画整理等で現状道路が住宅地図と異なる場合は道の形状を修正して記入する



(平面図)

■注意事項

- ・平面図を記載
- ・敷地形状、接道はおおむね良いので全て記入
- ・敷地内の建物をおおむね記入
- ・引込、第一止水、メーターの位置が分かるように寸法を記入
(公道内接続の場合も記入必要)
- ・公道分切替を行った道路の接道面にある水道施設は全て記入
- ・寸法はm単位で小数点第一までとする

敷地境界及び仕切・排水・空気弁から引込までの距離を記入

本管分岐箇所は交差点(仕切弁)まで記入

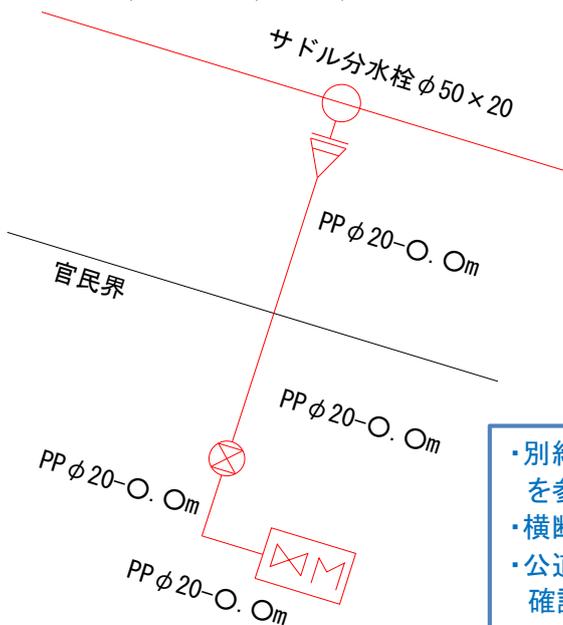
本管を施工した場合は曲がり箇所を記入する。

官民境界から第一止水・メーターまでの寸法を記入

官民境界は実線

(配管詳細図)

民民境界は一点鎖線



- ・別紙「公道分配管図と横断図の記入例」を参考としてください
- ・横断図と整合を取る
- ・公道内接続でも、止水栓、メーターの位置は確認する

公		公道分切替台帳記入見本(支分)		担当係長	担当
水道番号	第	1111	号		
設置場所	安城市 桜町 18番地23号			支分・連合の場合は、親番号(引込データがある番号)のみ切替台帳を作成する。	
方書(建物名等)	桜町水道局庁舎				
所有者氏名	公道 太郎				
施工業者	桜町設備 (桜町水道設備)		給水装置工事主任技術者	桜 太郎	
設計番号	メーター口径	取出口径		下請にて施工する場合は括弧内に下請業者を記入する	
27-〇〇	20	25			
丙止水栓まで		乙止水栓(支管弁)まで		公道内で接続	

工事完了年月日	横断面図(道路幅員・配水管位置・メーターまでの寸法)
平成28年〇月〇日	
特記事項	<p>別紙「公道分切替台帳の特記事項に記入する記載例」を参考としてください</p>
支分・連合給水の為、要綱に従い第一止水栓まで接続	

切替工事箇

別紙「公道分配管図と横断面図の記入例」を参考としてください

引込位置を線で記載する

■ 注意事項

- ・位置図は住宅地図とする
- ・上を北とする
- ・敷地をハッチングする
- ・なるべくランドマーク(目標物)をいれる
- ・区画整理等で現状道路が住宅地図と異なる場合は道の形状を修正して記入する



(平面図)

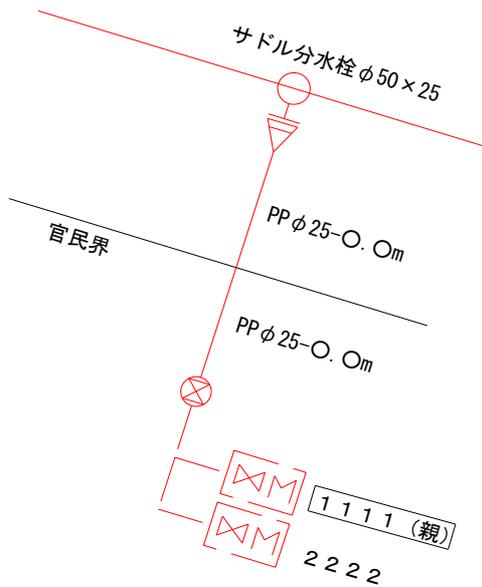
■注意事項

- ・平面図を記載
- ・敷地形状、接道はおおむねで良いので全て記入
- ・敷地内の建物をおおむね記入
- ・引込、第一止水、メーターの位置が分かるように記入
- ・公道分切替を行った道路の接道面にある水道施設は全て記入
- ・寸法はm単位で小数点第一までとする

官民境界から第一止水までの寸法を記入

- ・メーター位置は全て記載
- ・水道番号をメーター付近に記載
- ・親番号には(親)と書き、水道番号と共に四角で囲う

(配管詳細図)



- ・別紙「公道分配管図と横断図の記入例」を参考としてください
- ・横断図と整合を取る
- ・公道内接続でも、止水栓、メーターの位置は確認する

公	公道分切替台帳記入見本(φ75以上)			担当
水道番号	第	99999	号	
設置場所	安城市 桜町 18番地23号			
方書(建物名等)	桜町水道局庁舎			
所有者氏名	公道 太郎		下請にて施工する場合は 括弧内に下請業者を記入する	
施工業者	桜町設備 (桜町水道設備)		給水装置工事 主任技術者	桜 太郎
設計番号	メーター口径	取 出 口 径	分岐点配水管口径	
27-〇〇	75	75	PEPφ100	
丙止水栓まで	乙止水栓(支管弁)まで		公道内で接続	

工事完了年月日 平成28年〇月〇日	横断面図(道路幅員・配水管位置・メーターまでの寸法)
特記事項 要綱に従い第一止水栓まで接続	
別紙「公道分切替台帳の特記事項に記入する記載例」を参考としてください	

切替工事箇

別紙「公道分配管図と横断面図の記入例」を参考としてください

■ 注意事項

- ・位置図は住宅地図とする
- ・上を北とする
- ・敷地をハッチングする
- ・なるべくランドマーク(目標物)をいれる
- ・区画整理等で現状道路が住宅地図と異なる場合は道の形状を修正して記入する



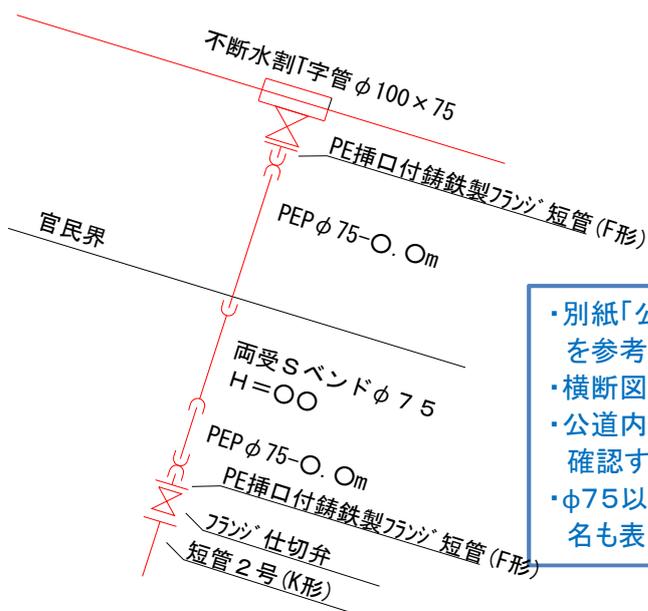
(平面図)

■注意事項

- ・平面図を記載
- ・敷地形状、接道はおおむねで良いので全て記入
- ・敷地内の建物をおおむね記入
- ・引込、第一止水、メーターの位置が分かるように寸法を記入
(公道内接続の場合も記入必要)
- ・公道分切替を行った道路の接道面にある水道施設は全て記入
- ・寸法はm単位で小数点第一までとする

官民境界から第一止水・メーターまでの寸法を記入

(配管詳細図)



- ・別紙「公道分配管図と横断図の記入例」を参考としてください
- ・横断図と整合を取る
- ・公道内接続でも、止水栓、メーターの位置は確認する
- ・φ75以上については仕切弁に接続する材料名も表記する